

理事長、学長 一体化

静岡文化芸術大 来年4月から

静岡文化芸術大(浜松市中区)は2022年度から、これまで異なる役職だった公立大学法人の理事長と同大学長を一体化する。設置者の県が定款変更を行い、22年4月から新たに理事長兼学長が就任する予定。両ポストの一体化は、大学運営の意思決定の迅速化が狙い。県内では県立大・同大短期大学部の学長と県公立大学法人理事長が21年をを目指す。新理事長は

静岡文化芸術大(浜松市中区)は2022年度から一体化され、静岡文化芸術大も歩調を合わせる形となる。定款変更の主な内容としては、これまで4年だった新理事長の任期を「2年以上6年を超えない範囲」で定めた。同大では有馬朗人理事長が昨年12月に亡くなつて以降、定款に基づき副理事長の横山俊理事長職を廃止することなどを予定している。

学長が務めていた副理事長職を廃止することなども予定している。21年度も現行の形を継続する。横山学長の任期は21年度末まで。

来年1月ごろに理事長選考会議を設置して決定し、川勝平太知事に申し出て任命を受けることを想定している。